

人間と原爆

新町小学校

六年

池田

奈々

八月六日午前八時十五分

昭和二十年（1945年）の朝。広島の人

々が一日を始め準備をしている時でした。

広島の青い空に一発の爆弾が落とされました。

ただの爆弾ではありませんでした。ウラン2

35やプルトニウムが含まれた原子爆弾。人

類で初めて実戦で使用された原爆でした。

その原爆の名は、リトル・ボーイ。リトル

・ボーイはB29、エノラ・ゲイによって落

とされたものでした。原子爆弾の爆風と熱線

は、爆心地から二キロメートル以内の建物を

ほぼすべて破壊し、二キロメートルを超える

地域でも多大な被害をもたらしました。当時

の広島市内の建物の九割が壊滅的な被害を受

けました。そしてその年の末までに死者は約

十四万人にものぼりました。何も知らなかつ

た人々は、たった一発の原爆によって命がう

ばわれました。

現代社会はなぜか戦争へ歩んでいるような気がします。沖縄のシエルターやロシアのウクライナへのこうげき。このまま何もしなかつたら多分近い未来戦争が起きます。北ちようせんのミサイル開発。それはあの日身をもつて原爆のおそろしさを教えてくれた人たちに失礼だと思えます。

私はこういうことに関して思うことがたくさんあります。いちばんはなぜ人間は同じあやまちを起こすのかということです。原爆が落とされた後も原爆症という病気に悩まされ亡くなつていく人もいて、大切な人をうばわれた苦しみを味わう人もいて。許せないと思いました。

私は今、もし戦争をのぞむ人がいたとしたら、こう言葉をかけます。

「人の苦しむ顔を見て楽しむのか？ そういう話をきいて嬉しくなるのか？ 今ウクライナに、原爆ドームの前に行つて同じことを言えるのか？」と。

そして、家族や、友達と敵も味方も関係なく、殺し合い、絶望し、生きる気力を失い、最後には自ら命を捨てるのか、と。今、自分たちは現代社会においてそう問われている気持ちになります。

今、世界にある原子爆弾は広島や長崎に落とされた原爆の何十倍もの力を持つと言われていると思います。もしそれが落とされたら。ということを考えてみてください。次の代へバドンをつなぐ私たちが動かなければ、きっと未来は悪い方へ向かっていきます。それを止めるために、未来について考えてみませんか？